

～卒業生の皆さんへ～

2021年3月20日

大阪電気通信大学 学長 大石 利光

卒業生の皆さん、本日はご卒業誠にありがとうございます。

保護者の皆様、ご子息、ご息女のご卒業、心よりお喜び申し上げます。卒業生のみなさんには、昨年発生した新型コロナウイルスの世界的蔓延により、私生活においても、大学生活においても多大な影響を受けられたことでしょう。

特に大学の授業においては、感染症対策として遠隔授業と面接授業の併用、また卒業研究等々においても大変ご苦勞をされた事と思います。そのような未曾有の事態の中、それぞれ、所定の単位を修得され、本日の、この良き日を迎えられましたことを、学長として大変誇らしく、また嬉しく思っております。このような状況乗り越えた皆さんだからこそ、本学で学んだ、専門知識、そして実学で磨いた、人間力と技術力を活かし、今後は自らの目標に向かって、お一人、お一人が、力強く歩いていかれるであろうと確信しております。その皆さんの門出を祝し、私の経験も踏まえ2つお話したいと思います。

ひとつ目は、『目の前の仕事に全力で取り組んで欲しい』と言う事です。

実は、私は20代後半に、設計技術者として、ある会社に転職しました。ところが、実際配属された部署での仕事は、倉庫管理でした。設計技術者として採用されたはずなのに！との思いが消えず、会社に対して不満が募り、倉庫管理の仕事に身が入らず、悶々とした日々を過ごしていました。そしてある日、「こんな不当な扱いをする会社は辞めてやる！」と思い、家内に話をしました。二人で話をする中で、今、この状態で会社を辞めたら、目の前の仕事から逃げる事になる。それなら、倉庫管理に真剣に打ち込んでみて、それでも退職の意志が変わらなければ、その時辞めても遅くない。そう思い直し、倉庫管理の仕事に全力で取り組み、改善も手掛けました。

すると、その改善内容が上層部の耳に入り、設計部署に配属となりましたが、思い起こせば倉庫管理の仕事は決して無駄ではなかった。倉庫で働いている間にフォークリフトの運転を覚え、納入業者含め、多くの人々との交流が生まれ、人間関係が広がると同時に、ネジや、機械部品・電子部品、その他の部品の値段だけではなく、包装の方法や、各種リードタイム等々に詳しくなりました。結果的には倉庫管理の仕事につけた事が、設計技術者としてのスキルの向上につながりました。

あの時、感情に任せ、逃げていたら、きっと今の私は、無かったと思います。

皆さんの多くは、四月から社会人として、実社会で仕事に就かれると思います。職場や職種が希望通りではなく、自分の思い描いていたものと違う！とか、こんな仕事をするためにこの会社に入ったわけではない！とか、将来に不安を感じる事があるかもしれません。

そんな時には、どんな仕事も将来の成長に繋がると考え、目の前の仕事に全力で取り組んでみてください。そうすれば、おのずと次の道は開けていくと私は思います。

ふたつ目は、『どんな分野でも良いからその第一人者になれ』と言う事です。

これは、かの有名なアンドリュー・カーネギーが、青年のための成功の秘訣として話された言葉です。

アンドリュー・カーネギーはアメリカの鉄鋼王で、貧しい移民から全米第2の富豪にまでのぼり詰めたアメリカン・ドリームの象徴とも呼べる人物です。カーネギー工科大学や、カーネギー財団、カーネギーホールといった現在にも残る教育・文化、慈善事業団体などに多大な貢献をされた人物です。

そのカーネギーは12歳で紡績工場の糸巻き小僧として雇われた時『世界一の糸巻き小僧になってやる』と一所懸命働き、その仕事ぶりが認められ、『こんなにできる子供に糸巻きをさせておくのはもったいない』と郵便配達員に雇われ、ここでも『世界一の郵便配達員になってやる』と、一軒、一軒、家と番地を覚えまくり、ついに町中知らない家が一軒もなくなったそうです。その仕事ぶりが認められ、今度は電信技士に抜擢されます。以来同じやり方で、どんどん成功し、ついにはあの巨万の富と地位を築いたのだそうです。

これだけは誰にも負けないと言う自分の強みを見つけ磨く事が、成功につながるのだと思います。

今日は、目の前の仕事に全力で取り組む事と アンドリュー・カーネギーが青年のための成功の秘訣として話された言葉『どんな分野でも良いからその第一人者になれ』と言うこのふたつを、本学を巣立つみなさんの門出に際してお話しをさせて頂きました。是非心に留め置いて欲しいと思います。

最後になりますが、本学も、約5万4千人の卒業生が実社会に巣立ち、多くの方が社会の第一線で活躍されておられます。その先輩方に続いて、大阪電気通信大学の卒業生として、おおいに、ご活躍される事を期待しております。また、卒業後、たまには母校をのぞいて、先生方や職員に近況報告と共に成長した姿を見せてあげてください。それが教職員にとってなによりの喜びであり励みになります。

皆さんの洋々たる前途と更なる飛躍をお祈りし、学長告辞とさせて頂きます。

本日は、ご卒業、誠におめでとうございました。